

子ども・若者を 地域で寄り添い、支えるために、 私たちができること

対象

一般の方、大学・専門学校生、医療保健福祉関係者、教育関係者、行政関係者、その他の専門職者など、子ども・若者支援やこころの健康に関心のある方ならどなたでも参加可能

参加費

一般：各セミナー **3,000** 円（大学院生を除く学生は **無料**）
当団体賛助会員：各セミナー **無料**（当日入会可能）
賛助会員：年会費 個人会員 1口 3,000円（1口以上）法人会員 1口10,000円（1口以上）1年更新
詳細については下記の事務局、または裏面のお問合せ先まで御連絡ください。

会場

9/15 福島会場①：コラッセふくしま（5階小会議室）
10/20 福島会場②：杉妻会館（4階大会議室）
11/11・12/1 郡山会場：郡山商工会議所（5階会議室）
詳細は裏面の会場案内をご確認ください。

定員

各セミナー定員：**50名**程度（要申込・先着順）
申込方法は裏面をご確認ください

こころの健康教育を

学校に届ける

講師：内田 知宏

11/11

（日）

死別体験をした
子どもに寄り添う

講師：佐藤 利憲

9/15

（土）

学校における
自殺予防教育の進め方

講師：阪中 順子

10/20

（土）

「声なき声」をうけ
とめられる地域へ

講師：伊藤 次郎

12/1

（土）

子どもの声に耳を傾けていますか？

子どものSOSに気づいていますか？

つらい

助けて

食べれない

死にたい

もう限界

疲れた

眠れない

許して

大丈夫

さみしい

【本セミナーに関するご質問・お問合せ先】
ReLink事務局 relink.f@gmail.com

第1回

死別体験をした子どもに寄り添う

～地域で寄り添い、支えあうために～

講師 佐藤 利憲 (当団体代表・福島県立医科大学看護学部講師)

死別は誰もが体験するとともに大きな出来事です。しかし、死別体験をした子どもの対応に苦慮することは少なくありません。また、良かれと思ってかけた言葉や何気ない態度によって子どもを傷つけてしまうこともあります。セミナーでは、死別体験をした子どもの心理的な特徴や支援の現状を紹介し、子ども自身がここに丁寧に触れ、折り合いをつけていく過程をどのように支えていくのかについて一緒に考えていきたいと思います。

●プロフィール

看護師。2008年から子どもと保護者のメンタルヘルスに関する支援を実践。2010年に仙台で東北初の死別体験をした子どもの支援プログラムを開催。昨年、ReLinkを設立し、同様の支援プログラムを福島市内で定期的に開催している。



【日時】9月15日(土) 13:30～16:00 【会場】福島会場①

第2回

学校における自殺予防教育の進め方

～大人として子どもの危機にどう向き合うか～

講師 阪中 順子 (加古川市教育委員会 教育支援カウンセラー)

自殺対策基本法改正(2016)により、自殺予防教育の実施が努力義務となりました。自殺予防教育の核となるものは、自分や友だちの心の危機に気づき、相談する力を育むことだと考えますが、学校現場では、実施に向けて不安の声が少なくありません。適切な授業内容の検討とともに、子どもから発信されたSOSを周りの大人がどう受けとめるかが大きな課題です。子どもたちのいのちを未来につなぐために、地域や学校でどのようなことができるのか、一緒に考えてみませんか。

●プロフィール

元小中学校教員、臨床心理士。20年間にわたり、子どもの自殺予防の問題に取り組み、教員・保護者・児童生徒を対象とした自殺予防プログラムの開発、試行を重ねている。



【日時】10月20日(土) 13:30～16:00 【会場】福島会場②

第3回

こころの健康教育を学校に届ける

～メンタルヘルスリテラシー教育の現状～

講師 内田 知宏 (尚絅学院大学人間心理学科 准教授)

友人関係、成績、部活動、進路選択など、子どもたちは様々な不安や悩み、ストレスを感じながら生活しています。子どもたちが自身のこころの状態に気づき、健康を維持するためには、正しい知識を学び、適切に対処することが大切です。これまで宮城県内の小中高校(約30校)で“こころの健康教育”の出前授業を開催しています。セミナーでは、出前授業の内容を紹介しながら、子ども自身がこころの健康を維持するための方法や予防についてのお話をさせていただきます。

●プロフィール

教育学博士。臨床心理士として、東北大学病院精神科カウンセラー、スクールカウンセラー、震災時こころのケアチームに従事し、2014年より現職。みやぎこころのデザイン教育実行委員会を立ち上げ、“こころの健康教育”を教育現場で開催している。



【日時】11月11日(日) 13:30～16:00 【会場】郡山会場

第4回

「声なき声」をうけとめられる地域へ

～どうすればSOSに気づき、手を差し伸べられるか～

講師 伊藤 次郎 (NPO法人 OVA 代表理事)

インターネット上には現実の世界でSOSを出せない子ども・若者たちの「死にたい」という言葉があふれています。子ども・若者はどうして現実の世界で助けを求めることができずに追い込まれているのでしょうか。また、どうすれば子ども・若者の「声なき声」に気づき、手を差し伸べることができるのでしょうか。セミナーでは子ども・若者が安心して助けをもとめられる地域をつくっていくために、今、私たちができることを一緒に考えます。

●プロフィール

精神保健福祉士。学習院大学法学科卒業後、人事コンサルティング会社・精神科クリニックで働く人のメンタルヘルス対策に従事。2013年より若者の自殺の現状に問題意識を持ち、検索連動広告を用いたアウトリーチ「夜回り2.0」の手法を開発・実施。



【日時】12月1日(土) 13:30～16:00 【会場】郡山会場

お申し込み方法

E-mailでのお申し込み: relink005@gmail.com

件名: 【第〇回りんくセミナー申込み】
本文: 【氏名】 【年齢(〇歳代)】
【職業/学校名・学年】
【連絡先(E-mailまたは電話番号)】
をご記入ください。

E-mail



FAXでのお申し込み: 024-547-1844

任意の用紙に【第〇回りんくセミナー申込み】と記入
本文: 【氏名】 【年齢(〇歳代)】 【職業/学校名・学年】
【連絡先(E-mailまたは電話番号)】をご記入ください。

※お申込は、各セミナー開催前日までとさせていただきます。
※各セミナーは、先着順とさせていただきます。定員になり次第締切らせていただきますのでお早めにお申込みください。

お問い合わせ

佐藤利憲研究室 (福島県立医科大学看護学部)
〒960-1295 福島市光が丘1番地
Tel: 080-8729-8033 E-mail: relink.f@gmail.com

協力: 特定非営利活動法人グリーンサポートセンター福島れんげの会

会場案内 ※開催日によって会場が異なります

福島会場①: コラッセふくしま 5階小会議室

〒960-8053 福島市三河南1-20

Tel: 024-525-4089

- ・ 福島駅西口から徒歩3分
- ・ 東北自動車道「福島西I.C」から車で約15分
- ・ 会場、および近隣に有料駐車場有

会場MAP



福島会場②: 杉妻会館 4階大会議室

〒960-8065 福島市杉妻町3-45

Tel: 024-523-5161

- ・ 福島駅東口から徒歩10分
- ・ 東北自動車道「福島西I.C」から車で約20分
- ・ 会場、および近隣に有料駐車場有

会場MAP



郡山会場: 郡山商工会議所 5階会議室

〒963-8005 郡山市清水台1-3-8

Tel: 024-921-2600

- ・ 郡山駅西口から徒歩8分
- ・ 東北自動車道「郡山I.C」から車で約15分
- ・ 会場、および近隣に有料駐車場有

会場MAP



本セミナーは三菱電機SOCIO ROOTS基金にて開催いたします。